

防風通聖散は、「宣明論」に記載された、腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちな肥満症、高血圧の随伴症状等に用いられる漢方薬です。

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 本剤を服用している間は次の医薬品を服用しないでください
他の瀉下薬（下剤）
2. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください

相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
 - (4) 胃腸が弱く下痢しやすい人。
 - (5) 発汗傾向の著しい人。
 - (6) 高齢者。
 - (7) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - (8) 次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
 - (9) 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください
 - (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮ふ	発疹・発赤、かゆみ
消化器	胃部不快感、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮ふや白目が黄色くなる）等があらわれる。
偽アルドステロン症	尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。
間質性肺炎	せきを伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。

- (2) 1カ月位服用しても症状がよくならない場合

3. 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談してください
4. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください
下痢

効能・効果

腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなものの次の諸症：高血圧の随伴症状（どうき、肩こり、のぼせ）、肥満症、むくみ、便秘

成分と分量

1包（大人1日量）中に次の成分を含んでいます。

成 分	トウキ	シヤクヤク	センキユウ	サンシシ	レンギョウ	ハッカ
分 量	1.2g	1.2g	1.2g	1.2g	1.2g	1.2g
	シヨウキョウ	ケイガイ	ポウフウ	マオウ	ダイオウ	乾燥硫酸ナトリウム
	0.4g	1.2g	1.2g	1.2g	1.5g	0.6g
	ビヤクジュツ	キキョウ	オウゴン	カンゾウ	セッコウ	滑石
	2.0g	2.0g	2.0g	2.0g	2.0g	3.0g

用法・用量

本品1包を和紙袋入りのまま、水約500mLを加えて、半量くらいまで煎じつめ、和紙袋とともに煎じかすを除き、煎液を3回に分けて食間に服用してください。上記は大人の1日量です。

年 齢	大人（15才以上）	15才未満
服用量	上記の通り	服用しないこと
1日服用回数	3回	

<用法・用量に関連する注意>

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) 煎じ液は、必ず熱いうちにかすをこしてください。
- (3) 本剤は、必ず1日分ずつ煎じ、数日分をまとめて煎じないでください。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わります。）
- (4) 煎じ液は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用してください。
- (5) 生薬を原料として製造しているため、製品の色や味等に多少の差異を生じることがあります。